

農政の動き 2015年10月23日～10月29日

◇東・西日本の平均気温 11～1月は高く◇

気象庁は、11～1月の3カ月予報を発表した。東・西日本では北からの寒気の影響が小さく、平均気温は高い。降水量は、東・西日本太平洋側で多い。〈11月〉東・西日本太平洋側では晴れの日が少ない〈12月〉西日本日本海側では曇りや雨、雪の日が多く、北・東・西日本太平洋側では晴れの日が少ない〈1月〉東・西日本日本海側では曇りや雪、雨の日が少なく、太平洋側では晴れの日が少ない。(23日)

◇15年産大豆の作付面積は対前年比8%増◇

2015年産大豆(乾燥子実)作付面積は14万1800㍓で、対前年比8%(1万200㍓)増加したと農林水産省が公表した。水稻や小豆などからの転換が進んだ。(27日)

◇農水省ホームページに食料自給率計算ソフト◇

農林水産省は、食料自給率計算ソフト「クッキング自給率」を同省ホームページ上で公表した。料理の食材や量、生産国をパソコンで入力すると、カロリー(供給熱量)ベースと生産額ベースの食料自給率とビタミン、ミネラルの摂取量が計算できる。食料自給率を身近に感じてもらうのが目的。(27日)

◇12月8日を「有機農業の日」に制定◇

有機農業5団体は、有機農業推進法が成立した12月8日を「有機農業の日」と制定し、1カ月間のオーガニックキャンペーンを来年から展開すると発表した。流通や加工、小売業者と統一キャンペーンを実施し、学校給食に地元の有機食材利用を呼び掛ける。(28日)

◇WHO加工肉の発がん性問題で声明◇

世界保健機関(WHO)に所属する国際がん研究機関(IARC)が26日、加工肉や牛肉、豚肉、羊肉などの発がん性を指摘したことについて、WHOは「加工肉を食べないように促すものではない」と強調する声明を発表した。(29日)